

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	バングラデシュ国
2. 案件名	ハオール地域における災害に強い気候変動適応型農業の実践と普及
3. 事業の背景と必要性	雨期の間巨大な湖沼と化すハオール地域では、近年の気候変動によって洪水（フラッシュフラッド）や冷害などの自然災害が頻発しており、農作物に甚大な被害を出している。農業関連行政は被災農民の状況を認知しているものの、行政機関間の連携不足により農民へ支援が届いていないのが現状である。提案団体は、気候変動に適応した農法の導入（新品種と作付け体系の見直し）・実践を通し農民に地域の気候に適応した農業技術を提供し、農業行政諸機関と調整連携することで上記農法を普及することで地域の農民の災害リスク軽減に寄与するものである。
4. プロジェクト目標	ハオール地域における気候変動適応型農業の有効性が実証され普及する
5. 対象地域	シレット管区ホビゴンジ県ホビゴンジ郡ラシュカルプールユニオン、バニヤチョン郡プクラユニオン、
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	(直接受益者層) ホビゴンジ県 2 郡 2 ユニオンの 4 村 300 世帯 (間接受益者層) 対象地域内外に住む農民、農業行政機関（農業省、農業普及局 (DAE)、農業開発公社 (BADG)、農業研究所 (BARI)、稲作研究所 (BRRI))、地方自治体等
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象農民が気候変動適応農業を実践しその有効性が実証される 2. 活動地域内外でハオール地域に適した新品種の種子が入手可能になっている 3. 事業の成果・教訓について様々なステークホルダーが認識し行動している <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気候変動適応型農業の導入と研修 2. 拡大再生産（種子の生産と保存）に向けた体制構築 3. 農業行政各機関との調整および市民社会への情報発信
8. 実施期間	(西暦) 2022 年 6 月～2027 年 6 月 (5 年 0 ヶ月)
9. 事業費概算額	99,999 千円
10. 現地カウンターパート	現地 NGO・ASED HABIGONJ (アセット・ホビゴンジ)
II. 団体の概要	
1. 団体名	一般社団法人シェア・ザ・プラネット
2. 活動内容	グローバル化し急激に変化複雑化する社会課題に対し、行政、企業、NGO が協働することで間隙を埋めていくための諸活動を行っている。日本国内の NGO 支援 (研修・アドバイス) やネットワーキング、開発教育活動。バングラデシュでのプロジェクト実施やローカル NGO の能力育成事業等を実施。